



平成28年4月17日
国土交通省中部地方整備局
応援対策本部

「平成28年熊本地震」への中部地方整備局の対応（第2報）

～熊本地方の被災地へ支援物資を「清龍丸」にて輸送（出発式）～

熊本地震災害の支援物資輸送のため、中部地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「清龍丸」を熊本港方面へ派遣します。

4月18日（月）9時30分より名古屋港にて出発式を行います。

1. 支援物資の内容：

水 約150KL（給水車約50台分）、ペットボトル1,600本（1.5L）

食料 約3,000食、その他毛布等

2. 出発式の開催：

開催場所 名古屋港 清龍丸基地港＝名古屋港空見ふ頭

フェリーターミナル南側、V3岸壁前（別紙参照）

開催日時 4月18日（月） 9：30

3. 出動行程：

4月18日（月）10：00出港 ～4月21日（木）午前 熊本港方面到着予定

出港船舶（大型浚渫兼油回収船「清龍丸」）の概要（別紙参照）

4. 配布先：中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、

港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

5. 問い合わせ先：国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部

港湾空港防災・危機管理課 課長 恩田（おんだ）

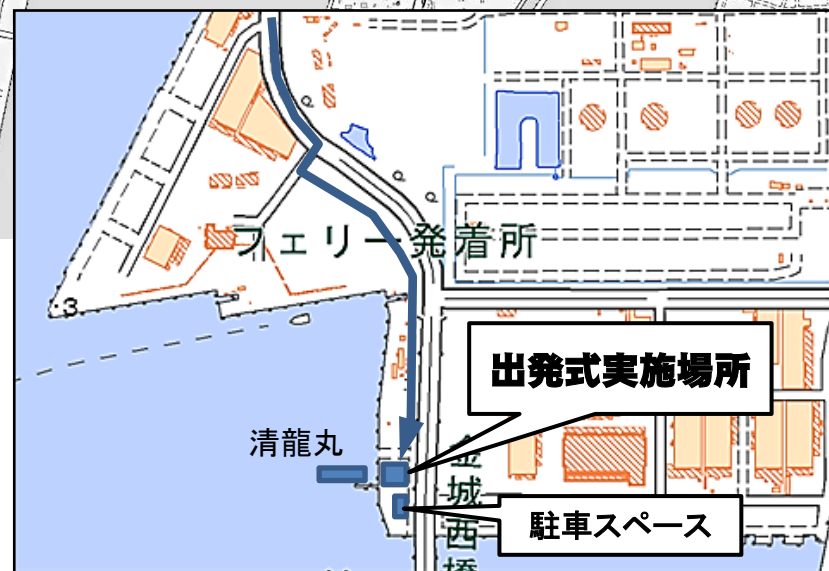
又は 課長補佐 伊藤（いとう）

電話：052（209）6328

清龍丸 出発式 場所



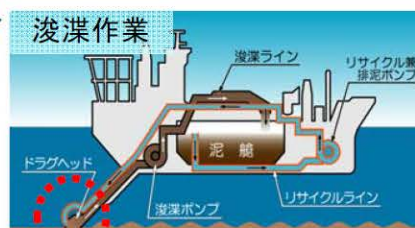
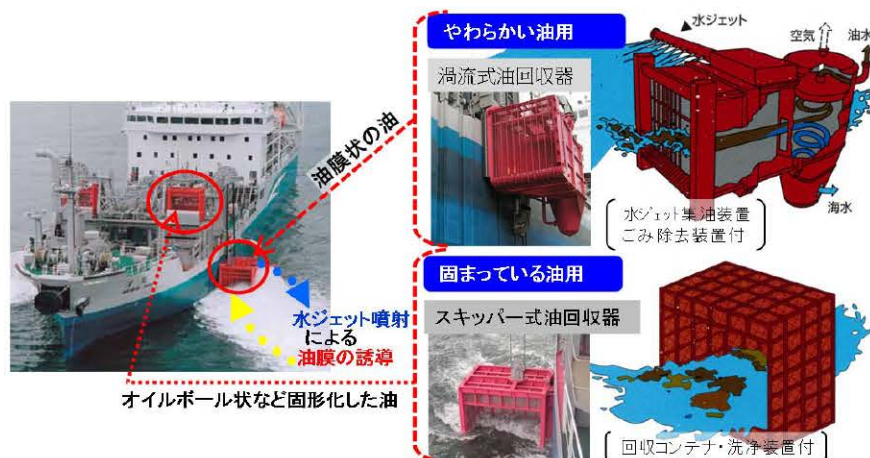
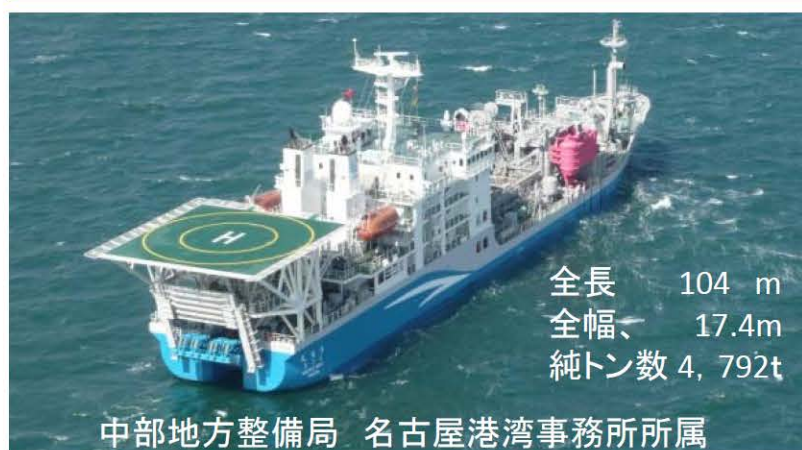
フェリーふ頭内は、シャーシやトレーラが通行しますので、フェリーターミナルに入りましたらハザードランプを点灯させた状態で、徐行運転をお願いします



浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業（災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等）。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl（ドラム缶約5千本分）の油水を回収可能。